

かせ

〈非ピリン系〉

6cap



発熱

鼻水

のどの痛み

総合感冒剤 中央 **ワールネチン** カプセル



製造販売元 大和中央製薬株式会社

榎原市北八木町1丁目6番16号
TEL 0744-22-2043

かぜ

中央クールネチンカプセル

成分・分量 1日量(6カプセル)中

アセトアミノフェン……………630mg
エテンザミド……………450mg
ヒベンズ酸チペピジン……………60mg
無水カフェイン……………120mg
マレイン酸クロルフェニラミン……………7.5mg
dl-塩酸メチルエフェドリン……………40mg
添加物として、カルメロースCa、アラビアゴム、
ヒドロキシプロピルセルロース、結晶セルロース、
乳糖、ゼラチン、カプセル本体に赤色3号、黄色4
号、ラウリル硫酸Na、亜硫酸水素Naを含有します。

注 意

1. 次の人は服用しないこと。

(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。

(2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。

3. 服用に際しては、説明文書をよく読むこと。

4. 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。

配置期限

2011.2.3 22.70

6カプセル入 ¥500+税

効能又は効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの
痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、
筋肉の痛み)の緩和

用法及び用量

15才以上	1回	2カプセル
7才以上15才未満	1回	1カプセル

1日3回、食後なるべく30分以内にかまずにその
まま服用する。



内装フィルム
:PVC、金属

かぜ薬の使用上の注意 (かぜ薬C・T) ⑱

してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬) 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと(眠気があらわれることがある) 4. 服用時は飲酒しないこと 5. 長期連用しないこと

相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人。(4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)(5) 高齢者。(6) 本人又は家族がアレルギー体質の人。(7) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(8) 次の症状のある人。高熱、排尿困難(9) 次の診断を受けた人。 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振	その他	排尿困難

裏面へつづく

1

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。)
シ ョ ッ ク (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合。

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること

口のかわき

[保管及び取扱い上の注意]

- (1) 直射日光の当たらない 湿気の少ない 涼しい所に保管すること。(2) 小児の手の届かない所に保管すること。(3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)(4) 配置期限の過ぎた製品は、服用しないこと。